

—柳慧プロデュース フラックス弦楽四重奏団

2020年1月9日-18日

—弦楽四重奏曲—

募集要項

神奈川県民ホールでは1月にアメリカからフラックス弦楽四重奏団を招聘するにあたり、優れた弦楽四重奏曲を募集します。採用された作品は公演期間中に行うワークインプログレス（フラックス弦楽四重奏団と新進の作曲により弦楽四重奏曲が初演されるまでの過程を公開するものです）&シンポジウムのなかでフラックス弦楽四重奏団によって演奏されます。ぜひふるってご応募ください。

応募期間

□2019年6月27日(木)～10月11日(金)必着

応募規定・資格

□年齢は2019年12月31日の時点で35歳以下の者とし、国籍は不問とします。

□応募は一人1作品に限ります。

□編成は弦楽四重奏(2Vn、1Va、1Vc)とします。

□演奏時間は12分以内とします。

□未発表、未出版のオリジナル作品に限ります。

□下記に該当する場合は審査・選出後であっても失格となることがあります

- ・応募規定に違反した場合
- ・応募書類や楽譜、楽譜データに不備がある場合
- ・作品が剽窃と認められた場合
- ・提出が上記の期限を過ぎた場合

応募楽譜

□任意の方法によって記譜されたスコア(総譜)とします。また必要に応じて奏法等の指示書を付記してください。

□表紙に作品名、作曲者名を日本語、英語の両方で明記してください。

□使用する言語は一般的な音楽用語、記号以外は英語のみ使用可とします。

□ソフトウェア音源等を任意で提出できます(データ、もしくはCDを申込時にあわせてご提出ください)。

参加料

無料

提出方法

下記のいずれかの方法でご提出ください。

PDF 形式で申込用紙とあわせて下記のメールアドレスへ送付

スコア 1 部を製本せずに申込用紙とあわせて下記の宛先へ郵送(持込不可)

《送付先》

〒231-0023 横浜市中区山下町 3-1 神奈川県民ホール

「フラックス弦楽四重奏・作品募集」係

Tel.045-633-3798

jigyou1ka@kanagawa-af.org

審査員

一柳慧(作曲家、ピアニスト、神奈川芸術文化財団芸術総監督) ※審査員長

大山平一郎(指揮者、ヴィオリスト、Music Dialogue 芸術監督)

沼野雄司(音楽学者、神奈川芸術文化財団芸術参与)

特典

採用された作品は 2020 年 1 月 13 日(月・祝)に神奈川県民ホールで行うワーケインプログレス & シンポジウムにおいてフラックス弦楽四重奏団により演奏されます。本番、及びリハーサル参加に係る旅費と宿泊費を主催者が負担します。また一般社団法人 Music Dialogue が主催するコンサートにおいて再演を予定しています。

通知

2019 年 10 月 31 日(木)にホームページ等で結果を発表し、あわせてメール、もしくは郵送にて応募者全員へ通知します。

その他

採用された場合は演奏のためのパート譜を 2019 年 11 月 15 日(金)までにご提出いただきます。なおパート譜製作に係る費用は作曲者負担とします。

応募作品の著作権は作曲者に帰属します(初演に際しては当財団の規定に従って著作権使用料をお支払いいたします)。

提出された応募書類(申込用紙、総譜)は返却いたしません。

提出された個人情報は本募集の目的以外には使用いたしません。

プロフィール

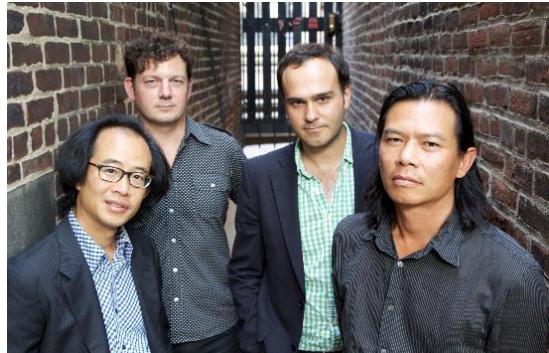
フラックス弦楽四重奏団 FLUX Quartet

トム・チウ(ヴァイオリン) Tom Chiu, violin

コンラード・ハリス(ヴァイオリン) Conrad Harris, violin

マックス・メンデル(ヴィオラ) Max Mandel, viola

フェリックス・ファン(チェロ) Felix Fan, cello



ヴァイオリンのトム・チウにより 1990 年代後半に結成された。オーストラリア、ヨーロッパ、アメリカの国際音楽祭や、カーネギーホール、ケネディセンターなどで演奏し、いずれも絶賛を博している。ラジオへの音楽提供や CD 録音も積極的に行っており、とくにモートン・フェルドマンの 6 時間にも及ぶ弦楽四重奏曲第 2 番の全曲録音(Mode Records)は特筆すべき功績である。ケージ、フェルドマン、リゲティ、ナンカロウやクセナキスなど 20 世紀後半を代表する作曲家の作品を演奏し、マイケル・バイロン、ジュリオ・エストラーダ、一柳慧などの新作初演を 100 以上行っている。また著名なアーティストとの共演、レジデンス活動とワークショップ、ジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションも多数。2015 年、神奈川県民ホールでの初来日公演、2017 年、エスパス ルイ・ヴィトン東京でのフェルドマン「弦楽四重奏曲第 2 番」(演奏時間が 6 時間を超える)はいずれも大きな注目を集めた。 公式ウェブサイト:<http://www.fluxquartet.com/>

公演概要

一柳慧プロデュース フラックス弦楽四重奏団 来日公演 (招聘作曲家:エリザベス・オゴネク)

①フラックス弦楽四重奏団 オリジナルプログラム 2020 年 1 月 11 日(土)

C.ナンカロウ:弦楽四重奏曲第 3 番、E.オゴネク:Running at Still Life、B.バルトーク:弦楽四重奏曲第 5 番 T.チウ:RETROCON、ほか

②一柳慧弦楽四重奏曲 全曲演奏会 2020 年 1 月 18 日(土)

③ワークインプログレス & シンポジウム

2020 年 1 月 9 日(木)、12 日(日)、13 日(月・祝)を予定

当公募で選出された作品によるワークインプログレスと初演、リハーサル公開、日米の現代音楽の現状と展望、作品委嘱等についてのシンポジウムを予定。

《シンポジウム登壇者》 一柳慧、T.チウ、E.オゴネク(シカゴ交響楽団レジデントコンポーザー)、

C.スミス(ロサンゼルス・フィルハーモニック COO)、沼野雄司(司会)

※会場はいずれも神奈川県民ホール 小ホール ※公演チケットは 9 月 7 日(土)一般発売予定

主催:神奈川県民ホール(指定管理者:公益財団法人神奈川芸術文化財団)

共催:一般社団法人 Music Dialogue

お問合せ:神奈川県民ホール 事業課 045-633-3798